



議会だより

北栄

北栄町議会
34
平成26年11月



「みてみて
じょうずでしょ」

25年度
決算 **2特会は赤字** P.2

ふるさと納税さらに増 P.4

町政 **ここを問う** P.7



北栄町議会

検索



<http://www.e-hokuei.net>

質疑あれこれ



◎コナン駅愛称化事業

問 森本真理子
アグリフォーラムの参加者が、減少しているが何か対策はないのか。

答 手嶋産業振興課長
昨年、開催時期を変更したことも減少要因かもしれない。実行委員会で、いろいろ協議している。実行委員会では、人権に関わるものとしては、内2件が該当する。

問 長谷川昭二
人権相談員が昨年度受けた相談件数は何件あるのか。

答 杉本生涯学習課長
昨年度は7件の相談があった。話を聞いてみると、個人間のトラブルや法令違反等もあり、人権に関わるものとしては、内2件が該当する。

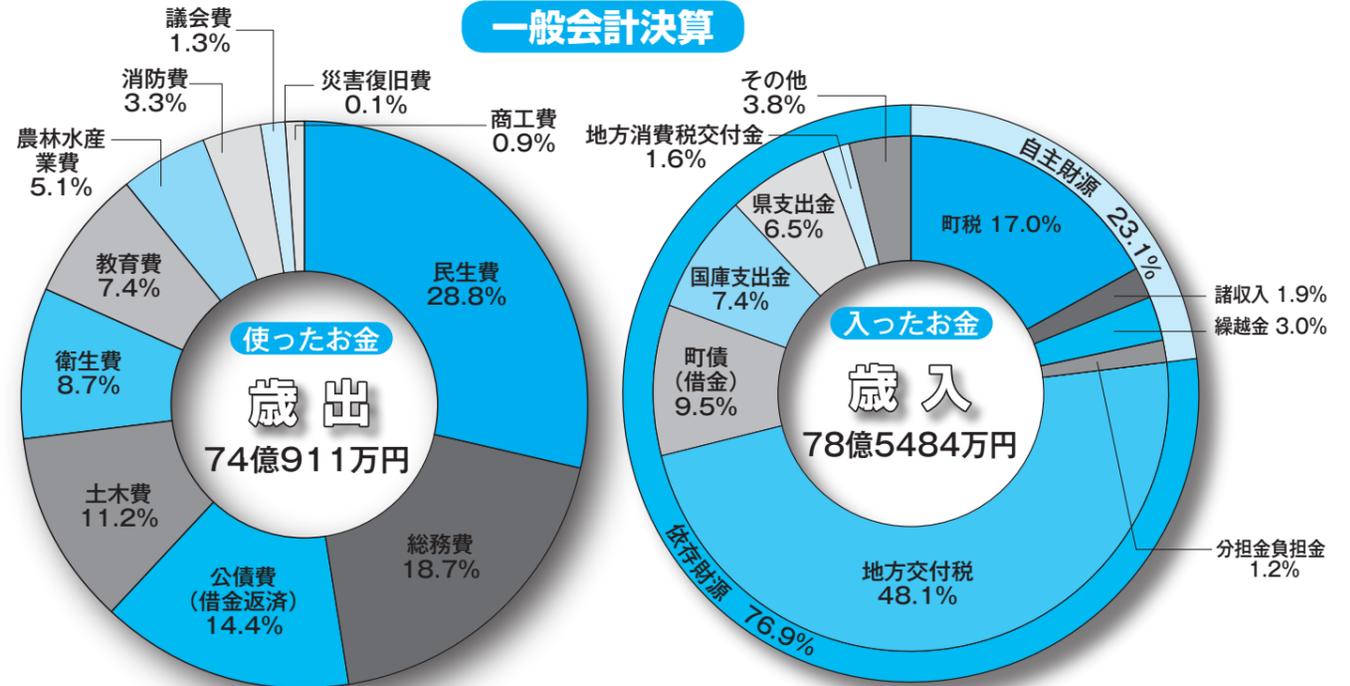
一般会計決算

平成25年度 決算

2特会は赤字続く

9月8日から19日まで、9月定例議会が開かれました。決算審査では、平成25年度の一般会計ほか10の特別会計と水道会計について審議し、すべて認定しました。一般会計は、4億1046万円の黒字でした。10の特別会計のうち、住宅新築資金等貸付会計は、今回も赤字でしたが、下水道会計は対前年比64万円の赤字幅縮小となりました。

一般会計決算



こんな事業やりました。

- 消防施設設置事業 2432万円 (第1分団消防自動車更新等)
- 情報化推進整備事業 3億9490万円 (大栄地区光ケーブル整備)
- コナン駅愛称化事業 1346万円
- 自治会等太陽光発電設備設置事業 1226万円
- LED防犯等整備事業 1802万円
- がんばる農家プラン支援事業 3400万円
- 販売強化活動事業) 577万円 (「マルシェファーム北栄」を東京で開催)

賛否あり

一般会計決算

反対討論 長谷川 昭二

- 1 投票所縮小の経費削減は、投票機会を保障する観点から問題。
- 2 人権相談員は必要とは考えられない。
- 3 使用可能な防犯灯のLED切替え、自治会太陽光発電設備設置は緊急・不可欠ではない。
- 4 国保税や下水道料金の大幅な引き上げ。
- 5 保育士の非正規雇用の常態化。
- 6 認定農業者とそれ以外の農業者との助成基準の大幅な格差。
- 7 敬老行事交付金は、不公平な支出。以上の理由で反対する。

賛成討論 浜本 武代

農業・風力発電・コナン等のまちづくりに取り組み、実質4億1046万円の黒字。農業の町として農業者と目標に向かっての努力と風のまちづくり事業は初年度目標に達成し今後公平な支援を。

人権相談事業は安心して相談できる体制で、また町民の健康と安心して暮らせる町に協働して引き続き取り組むことを期待する。

賛成議員 津川 前田・森本・宮本・町田
浜本・田中・池田・山下
斉尾・阪本・油本・飯田

会計	項目	決算額 (単位: 万円)				審議結果
		歳入 (A)	歳出 (B)	繰越額 (C)	実質収支 (A-B-C)	
一般会計		785,484	740,911	3,527	41,046	賛成13 : 反対1
主な特別会計	国民健康保険	198,118	197,817	0	301	賛成13 : 反対1
	介護保険	162,502	158,817	0	3,685	賛成13 : 反対1
	住宅新築資金等貸付	781	3,790	0	△3,009	全会一致
	下水道	120,520	121,223	72	△775	賛成13 : 反対1
	風力発電	49,126	41,105	0	8,021	全会一致
	大栄歴史文化学習館	4,940	4,547	0	393	全会一致
	後期高齢者医療	14,284	14,245	0	39	賛成13 : 反対1

※繰越額 H25年度に事業実施されなかったため、翌26年度に実施することになった額。



曲自治公民館の太陽光発電設備

【健全化判断比率%】

区分	25年度 (24年度)	早期健全化基準	財政再生基準
		イエローゾーン	レッドゾーン
実質赤字比率	赤字なし (赤字なし)	14.79	20.00
連結赤字比率	赤字なし (赤字なし)	19.79	30.00
※1 実質公債費比率	16.4 (18.2)	25.0	35.0
※2 将来負担比率	126.7 (132.9)	350.0	-
資金不足比率 (下水道事業特別会計)	2.1 (2.0)	経営健全化基準 20.0	

※1 自由になる財源の内、借金返済の割合。
※2 実質的な債務は、自由になる財源の何年分か。

質疑あれこれ



利用が増えた急速充電器

有料の急速充電器は、まだまだ普及していないこともあり、増設も考えていない。

答 大庭住民生活課長

急速充電器は、将来は民間がすべきだと思う。行政はある程度普及するまでの期間だけのものと考えている。

答 松本町長

急速充電器の電気代が増額されているが、町は、現在1台しかない急速充電器を、観光客の利便性向上のため増やすつもりはないか。また有料化はしないのか。また、今後の位置づけをどう考えているのか。

問 津川 俊仁

一般会計補正予算 (第2号)



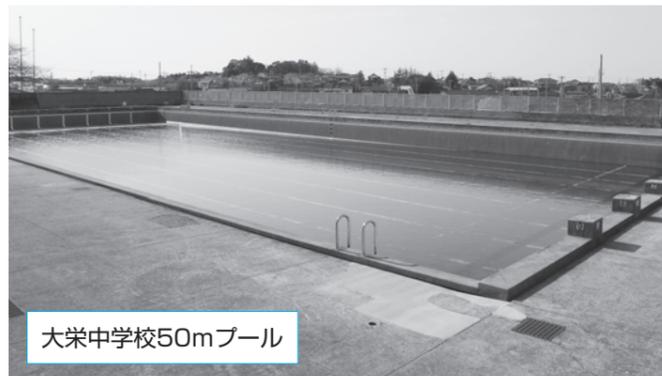
安全対策工事実施予定の通学路(由良)

問 油本 朋也

町道修繕工事が計上され、工事箇所の一つに、大栄中学校線安全対策(グルーピング)とあるが、場所と内容、完成時期は。

答 吉岡地域整備課長

場所は、大栄小中学校から六尾方面に向かいカーブしている下り坂。スリップした車が歩道に飛び込まないためのガードレールの設置と道路に細い溝を掘ることで、スリップ防止と排水・砕氷効果が期待できるグルーピング工事を、雪が降り始めるまでに完成させたい。



大栄中学校50mプール

答 岩垣教育長

教育委員会としては、25mへの変更改築を決定している。50mへの再考を求める意見があったことは、教育委員会で報告させていただく。

問 田中 精一

大栄中学校プール改築の設計委託料の計上は評価するが、なぜ今の50mではなく25mへの変更か。執行にあたって、再考する気はないか。

陳情審査結果

陳情件名	陳情者名	採決	委員会の意見
軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情	大阪市 軽度外傷性脳損傷仲間の会 代表 藤本久美子	採択 全会一致	労災軽度外傷性脳損傷は交通事故や高所からの転落、転倒、スポーツ外傷などにより、頭部に衝撃を受けて発症する病気であるが、日本の医療において知られておらず、MRI等の画像診断では異常が見つかりにくい。そのため医療機関をはじめ、国民、教育機関への啓発・周知が重要であり、認定基準の改正などが必要である。 →政府及び国会に意見書を提出

9月
定例議会

ふるさと納税 さらに増加

9月定例議会では、平成25年度決算認定のほかに、提案された条例や補正など、8議案を可決しました。一般会計補正予算では、6月に補正をおこなったふるさと納税がさらに増加したため、お礼の特産品の経費を、1425万円増額しました。その結果、歳入見込みは総額8350万円になりました。その他、2件の報告があり、1件の陳情審査をしました。

【決算認定以外の議案審議結果】

条 例	内 容	決 議
町長等の給料の特例に関する条例の一部改正 (町長10%・副町長5%報酬減額1ヶ月)		全会一致
特別医療費助成条例の一部改正 (法律改正に伴うもの)		全会一致
一般会計(第2号)	(ふるさと納税等1787万円)	全会一致
国民健康保険特別会計(第1号)	(赤字補填繰入金増額2749万円)	全会一致
介護保険特別会計(第1号)	(国・県への返還金1434万円)	全会一致
下水道事業特別会計(第3号)	(瀬戸橋改修下水道管移設604万円)	全会一致
歴史文化学習館特別会計(第1号)	(展示ケース改修等398万円)	全会一致
水道会計(第1号)	(瀬戸橋改修水道管移設等1375万円)	全会一致
報告	平成25年度決算に基づく健全化判断比率について 平成25年度決算に基づく資金不足比率について	

高校生が議会傍聴



9月11日の一般質問に、鳥取中央育英高等学校の2年生13人が、傍聴に来られました。これは、町議会と高校とで、開催を計画している北栄町高校生議会に向けての事前研修を兼ねて実施されたものです。

空調工事の変更契約 疑問続出

7月15日の第3回臨時議会で提案された、役場大栄庁舎及び大栄農村環境改善センター空調設備改修工事の変更契約について、多くの議員から質疑が出されました。これを受け、町は内容を見直すため、議案を撤回しました。議会の指摘を踏まえ、7月25日の第4回臨時議会で、改めて提案された工事請負変更契約の締結については、全会一致で可決しました。

第3回 提案内容

主な工事内容

- ①エアコン防雪フード変更 △460万円
- ②アスベスト含有建材撤去処分費 330万円
- ③冷媒ガス回収・破壊・処分 240万円
- ④作業用仮設足場 170万円
- ⑤大栄農村環境改善センター1階機械室外壁開口・扉新設 110万円
- ⑥旧エアコン設置場所の壁紙・床・天井クロスの腐食修繕 90万円 など総額610万円増



第4回 提案内容

主な工事内容

- ①エアコン防雪フード変更 △460万円
- ②アスベスト含有建材撤去処分費 330万円
- ③冷媒ガス回収・破壊・処分 240万円
- ④⑤は業者負担
- ⑥旧エアコン設置場所の壁紙・床・天井クロスの腐食修繕90万円 など総額329万円増

質疑あれこれ

第3回臨時議会

問 飯田 正征

作業仮設足場の費用は、最初から計上されていないとおかしい。後で町が支払うべきものではない。

答 別本総務課長

室内での作業用の足場については計上されていたが、この外足場についてはなかった。作業員の安全の確保のため、協議の中で、足場の設置が必要となった。

問 前田 栄治

納入機器が搬入出来ないため、機材搬入入口を追加した費用が計上されているが、これは設計ミスではないのか。

答 別本総務課長

把握が不十分だった。機械の搬入の際、想定した経路での搬入ができないことがわかったための措置。十分な検討をすればよかったと非常に反省している。

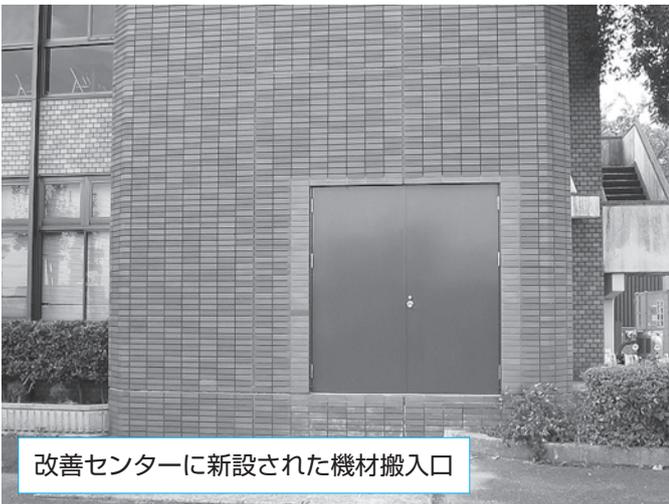
第4回臨時議会

問 池田 捷昭

変更が生じた時に、すぐに議会に報告すべきであった。不適切である。はじめをつけるという意思はないか。

答 松本町長

私をはじめ、処分等も考えていかなければならないと考えている。検討した結果は議会に報告させていただく。



改善センターに新設された機材搬入口

町政

ここを問う

質問席

9月定例議会では12人の議員が
21問の一般質問を行いました。

町政インタビュー

質問者	質問事項	ページ
田中 精一	庁舎統合	8
浜本 武代	北条庁舎の今後のあり方は	8
	協働活動の検証による現状把握と今後の取り組み	14
飯田 正征	土曜日授業	9
	北栄町空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例	11
町田 貴子	子どもを取り巻く様々な問題	9
	中央公民館の設置	10
斉尾 智弘	胃がんリスク検診導入	13
	北栄町地域交通利用券利用対象者	13
	長いも農家への支援	14
	住居表示に関する法律と、不動産登記法上の所在地表示との関係	15
長谷川昭二	教育への政治的介入と教育委員会の民主的活性化	10
	公契約条例の制度化	16
池田 捷昭	下神ゴルフボール飛来被害対策	11
	町長の政治姿勢	18
油本 朋也	町道の交通安全対策	12
	通学路の安全対策	12
津川 俊仁	登録型本人通知制度	15
森本真理子	投票所数の縮減見直しと検証結果	16
山下 昭夫	道州制（市町村合併）と地方（北栄町）の疲弊	17
阪本 和俊	町長の政治姿勢と行政ミスが発覚した際の対応や責任の取り方	17

土曜日授業

なぜ実施しないのか

答「週5日制が定着」

飯田 実施についてのアンケート結果、保護者は賛成51・3%、反対24・2%どちらとも言えないが24・4%だった。教職員は6・1%が賛成、82・9%が反対、どちらともいえないが、11%だった。実施しないとした理由は何か。保護者の意見について、どう考えるか。教職員の負担の軽減、諸問題の解決を図り、土曜日授業の再開としてはどうか。



飯田 正征



教育委員長

理由は次の4点。

- 1 学校週5日制が定着。
- 2 土曜日の昼間を学校任せでは家庭の教育力は高まらない。
- 3 教職員の今以上の負担の回避。
- 4 教職員の振替休日で学校運営に支障。

しかし、長期休業日の短縮や、子ども達を選択できる豊かな教育環境の整備、子ども達を町全体で育てる気運作りなど、子ども達が生きる力を身につける教育を考える機会にしたい。

庁舎統合

北条庁舎を「出張所」

答「法的位置づけは必要」



田中 精一



大栄庁舎

田中

条例で大栄庁舎を事務所として制定している以上、いずれ庁舎統合することは既定の事実である。

来年、合併から10年を迎えようとしており、むしろ、遅きに失したくらいである。統合の前提として、北条地区住民の行政サービスや利便性向上の観点から、北条庁舎を地方自治法により「出張所」として、正式に条例で位置づけ、その後「庁舎統合と北条出張所開設」を同時に行うべきと考える。

町長

庁舎統合は必要との考えは、変わっていない。統合経費は、合併特例債を活用したい。

指摘のとおり、条例で北条町役場の位置は「北条町由良宿423番地1」と定めてあるが、北条庁舎は条例上の位置づけがない。北条地区の活性化も考慮したうえで、現在の北条庁舎を引き続き使用するか、窓口機能を別の施設に移転して設けるか、早急に詰めた。統合後に使用する施設は、法的に位置づけることが適切だと考えている。

町政「ここ」を問う

庁舎統合

北条地区はどこうなる

答「総合窓口を充実」

浜本

庁舎統合で総合窓口

口業務と中央公民館だけとなり、「文化の薫る町」北条町の維持発展は可能か。また、「北条農村環境改善センター」の利用もなくなるのではない。現在でも「福祉関係」の相談業務が必要では。耐震補強を実施し、「ふるさと広域連合」に使用料を請求できないか。

町長

大栄庁舎に一本化し、

分庁舎総合窓口と福祉相談も充実したい。文化・芸術は郷土愛・想像力・感性を養い、まちづくり・人材育成・活性化にもなる。中央公民館事業で、美術展・各発表会・作品展など町の文化交流の場と生きがいづくりとなっている。北条改善センターは多人数の会に使用、耐震補強や使用料は「ふるさと広域連合」と協議する。



浜本 武代



北条庁舎

社会教育環境

子どもが危ない

答「地域の協力は不可欠」

答「放課後クラブを活用」

町田

子どもの連れ去り、

いじめや仲間はずしなどの被害が多発している。これらの問題に対し、学校、家庭などの対策はできているか。子どもの集える場所などの環境づくりも必要である。

町長

不審者対策は、地域・

家庭・PTA・学校・行政が一体となって取り組まなければならない。特に地域の協力が不可欠。

教育委員長

不審者情報は、すぐに携帯メール「まちのEメール」で保護者や他の

小・中学校に配信している。また、青色パトローラーカーで巡回など、各所と連携しながら情報発信や見守り強化など取り組んでいる。

子どもたちの放課後の居場所については、放課後児童クラブがあり活用していただいている。



町田 貴子



空き家等の条例

その条例どうなった

答「審議会の結果を受け指導へ」



飯田 正征

飯田

条例は町民の安全

安心な暮らしを確保するため、7月1日に施行されたが、問題の建物の処理・手続が未だなされていない。理由と今後は、北栄町空き家等審議会は町長が委嘱した委員10名以内で構成することになっているが、どのような人を何人委嘱されたか、空き家等審議会の実施状況は。

町長

6月と8月に関係課で

組織する空き家対策会議を開催。既存の空き家対策や新たな発生抑制を協議中。空き家等審議会は大学教授、弁護士、自治会長代表等の6名で構成、10月1日に第1回を予定。専門家の意見を聞き、保安上緊急を要する建物について審議の予定。今後は、その結果を受け、判断基準を明確にし、指導に入りたい。



危険な火災現場跡

中央公民館と分館

設置の根拠と機能

答「合併協議会で承認」

答「それぞれの特性を生かして」



斉尾 智弘

斉尾

本町はいかなる根拠で、中央公民館は旧北栄町に、その分館は旧大栄町に設置されているのか、またその機能分担は。

の役割を果たし、大栄分館では指定管理者であるNPO法人「まちづくりネット」によって地域活動に取り組んでいる。

町長

平成16年の第5回北条

町・大栄町合併協議会において、建築年度、広さを勘案し、北条町施設を本館、大栄町施設を分館とする調整の提案がされ、第6回合併協議会で承認された。中央公民館では美術展、公民館まつり、ゆら川くだりなど町の重要イベントの事務局

教育委員長

機能分担は、共通部分として講座、教育、サークル活動など住民の学習

教育、文化に関する活動の支援。それぞれの特性として中央公民館は町全体に呼びかける事業や町外の関係団体との連絡調整、大栄分館は指定管理者が運営し法人の特性を生かした事業を展開している。



新教育委員会制度 守れ教育の自立・自主性

答「執行権限は教委に」

答「中立性を確保」

長谷川

新教育委員会制度

が来年度から施行され、教育長と教育委員会委員長の職を兼ねる新たな教育長が設けられる。教育長の権限は強化し、教育大綱策定権限や総合教育会議が首長の政治介入の場となる懸念がある。教育への政治介入を許さず、自主性・中立性・政治的中立性を確保することが重要。

町長

教育委員会制度が来年

4月から改正され、教育行政の責任者を明確化するため、教育長と教育委員長を一本化した新教育長を首長が任命する。教育方針等は教育委員会と話し合う「総合教育会議」が設置され、十分な意思疎通が図られる。教育の自立性、自主性、政治的中立性が損なわれることなく、最終的な執行権限は教育委員会に留

教育委員長

保される。

教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、新教育長のチェックと町民の意見を反映しやすくするため、積極的に会議の公開や意見交換に努める。



教育委員会

ゴルフボール飛来

地域の被害対策

答「行政指導はできない」

池田

下神のゴルフ練習

場は営業当初から被害を発生させている。地域に迷惑をかけていると言っ認識がない。条例の制定の検討、研究を踏まえての対策はないか。

町長

建設許可は、構造上の強度を確認するため建築確認申請が必要とされているが、同施設の飛打球対策ネット及び支柱は当初から申請されていないことが判明し、県が指導を行った。

飛打球については法的な規制がなく、行政指導はできない。今後は協定書か覚書の締結を図って行く考えである。



飛び出したゴルフボール



池田 捷昭



油本 朋也

町道の交通安全対策

大胆な安全対策

答「地元の意向に応じて」

油本

下北条駅前
前の町道

東側で、5月に交通死亡事故が起きた。ここは道幅が狭く、信号のある県道の迂回路として交通量が多く、朝夕の通学の自転車やJR利用者も多い。事故原因の一つとされるカラー舗装の除去という小手先の対応ではなく、駅東側の視界を遮っている建造物の撤去や、片側一方通行の実施など大胆な改良が必要では。

町長

車両を優先して道路拡

幅すると、車の通行が増え逆に危険となる。地域の利用実態に合った交通事故対策を、多面的に行う必要がある。交通ルールの遵守、マナーの向上に取り組み、危険箇所点検と連携し改善していきたい。時間帯の通行規制や一方通行規制は通行量の抑制に有効と考えるが、地元の意向に応じて検討したい。



駅前の東側

町政「こころ」を問う

通学路の安全対策

危険な防護柵

答「早急に対応」

答「関係機関と一緒に点検」

油本

大栄小学校
校門付

近からテニスコート、駐車場への防護柵が、サビと腐食のため劣化し大変危険である。子ども達の安心安全な登下校のため、一日も早い対応が必要では。定期的な見回りとともに、住民からの通報も大切であるが、情報の寄せられた危険箇所の改良修繕に向けての優先順位は、どのような基準で誰が決めるのか。

町長

現場は5月のPTAの

通学路緊急点検で指摘され、地域整備課が確認したところ緊急性を要するとして、今回の補正予算で修繕費を計上した箇所である。通学路は特に児童生徒の安全を守るという観点から緊急性を勘案しながら速やかな対応を行っている。優先順位は、危険性、緊急性をともに担当課、総務課、副町長、町長で決定する。

教育委員長

教育委員会は平成24年から毎年PTAと連携し、6月に危険箇所を洗い出し、8月頃に警察、道路管理者、担当課、学校関係者と実際に現地で周辺の地形や見通し、交通量、道路形状や交通規制などを確認しながら合同現地点検を実施している。今年は大栄5箇所、北条2箇所を点検。今後関係機関と一緒に継続して取り組んでいく。



腐食したガードパイプ

胃がん予防

ピロリ菌検査の導入

答「実施市町村を参考」



斉尾 智弘

斉尾

胃がん予防につ

ては、*ピロリ菌感染の有無を調べることが、有効であると国でも認知されている。このピロリ菌感染の有無を調べる検査は、北栄町では、まだ実施されていない。速やかな導入を。

町長

国立がん研

究センターの研究によれば男性の胃がんの要因で最も高いのが喫煙で、次いでピロリ菌、食塩ということが分かっている。検査をし、陽性者には菌の除去をして胃がんのリスクを減ら



総合検診

すことは、医療費の削減につながるべく考えている。実施の市町村を参考にし、前向きに検討する。

*ピロリ菌ヘリコバクター・ピロリ＝胃の中に入り、胃の病気を引き起こすこともある菌

タクシー利用券

交付範囲の拡大

答「さらに検討」

斉尾

タクシー利用券は、

交通不便地域にお住いで、65歳以上及び障がい者等、いろいろな事情で車を利用できない人に交付されている。近年買い物等に不自由される独居老人が増えている。交通不便地域の枠を外すべきと考える。

町長

一人暮らし高齢者とい

うことだけで、タクシー利用料助成の対象にすることは、一人暮らしでも車を利用することが出来る人に対する公費助成について、町民の理解が得られるか、慎重に検討する必要がある。とはいえ、拠点に近い人でも移動手段に困っている人はあるかもしれない。公共交通機関の利用に困っている人に対して、どのような対応が出来るか今後さらに検討していきたい。



町政「こころ」を問う



斉尾 智弘

長いも掘り取り機

更新に支援

答「単純更新は支援できない」

斉尾

現在10戸の農業

家が長いもと、ねばりこの栽培に取り組んでいる。平成25年度の販売金額は、約3億5500万円。この優良品目の生産維持していく上で大切なものに、いも掘り機があるが、メーカーは現在機械を製作していないので、更新についての支援を求める。

町長

北条砂丘農業活性化プラン

においても、他の事業においても現状維持や機械の単純更新は補助対象外となっている。規模拡大、新規取組であるとか、何らかの条件が産地や生産者に必要となっている。単純な更新は支援はできない。



長いも掘り取り機

町政のことを問う

協働のまちづくり

さらに推進

答「協働で活性化」

浜本

今後の町民との協働

のまちづくりを、さらに進めるためにはどうするのか。また、具
体策は。町報に「協働のまちづくりコーナー」を設け、活動内容を掲載する支援はできないか。住民参加の健康づくりの今後の取り組みと六尾自治会に続く予定地域は。

町長

町民が主体となり、企画から運営まで、行政と協働で事業実施している「実行委員会方式」で、

今後、元気の町民・コミュニティと協働し実践することで町全体の活性化につなげたい。



大栄分館前・前川土手の草とり



浜本 武代

住居表示

住所と自治会名との関係

答「違う場合も」

斉尾

法律には、公共の福祉増進に資する目的等の場合、議会の決議を経て、住民番号や名称を決めこれを告示すること、と定めてある。

しかし従来からある街の名前などは継承する措置を講ずること等も法定化されている。本町内では、登記簿上の表示名が、自治会の名称になっていないが、法律に準拠しているか。

町長

昭和37年に「住居表示に関する法律」が制定。それまでの法律では、町の境界や目的の場所が分かりにくいといった不具合が都市部で多くあった。

これを分かりやすくするため、新たな住居表示方法を定めた。この制度では、土地の場所を示す登記簿上の地番と、この法律の規定に基づき定められた住居表示（住所）が一致しない。しかし、町



自治会表示

登録型本人通知制度

増やせ登録者

答「全員通知型は出来ない」

答「学習機会に周知・啓発」



津川 俊仁

津川

平成25年度より導入

入された登録型本人通知制度の登録者は38人。その数を増やすために、住民生活課、福祉課、生涯学習課においてどのように取り組むのか。また、登録方法の簡素化や全員通知型にできないか。

町長

住民生活課では、本人へのなりすましを防ぐために本人確認を徹底すること、本人の代理人であれば、その代理人の本人確認を行うこと、第三者の交付であれば、正当な理由が厳密に審査を行うことなど、交付事務の時点で不正請求の防止に努

めたい。

教育委員長

今後も様々な学習機会を捉え、個人情報保護の大切さなどを人権の観点から、周知・啓発に努めたい。



斉尾 智弘

町政のことを問う

道州制と市町村合併

地方は疲弊の一途

答「道州制には、強く反対」



山下 昭夫

山下 国の進めようとしている道州制とさらなる市町村合併の導入は、大都市の一極集中を加速し、その結果、地方（北栄町）は、疲弊の一途をたどることになるのでは。

町長 道州制導入と、それに伴い必然的に促されるであろう市町村合併は、全国町村会として強く反対しており、私も同様に反対である。道州制導入は、大都市圏への集中と、地域間格差をさらに拡大し、地方



の住民自治は埋没し、衰退の一途をたどり、ひいては国の崩壊につながることを考えている。むしろ、今、行うべきことは、自治体規模にあった地方分権改革を積極的に進め、地域の自主・自立性を高めることである。今後とも、北栄町を元気にする行政運営を行い、活力ある町にしていきたい。

公契約条例

入札条件に適正賃金

答「国の法整備が不可欠」



長谷川昭二

長谷川 公共工事などの労働単価の引き上げが建設労働者の賃上げに結びついていない。適正な賃金を確保するため、賃金の最低額を定め、それ以上の支払いを受注の資格要件にする公契約条例の制定が必要である。子育て世帯への支援、業務委託や指定管理などで継続雇用保護・地域経済の活性化にもなる。



町長 公共工事の品質を確保するための法改正で、担い手の育成・確保などを目的に発注者の責務として、労務や資材の取引価格等の予定価格の適切な設定などが盛り込まれた。この改正で労働者の賃上げや適正な労働条件の確保・改善などひとつの自治体での解決は難しく、国が制度設計すべきであると認識している。



阪本 和俊

阪本 一連の行政ミスが発生した。特に庁舎及び改善センター空調設備改修工事の増額変更等の説明が不十分であった。さらに平成23年1月発生のノロウイルス集団感染での報道対応にも疑問であり、対応と責任を問う。

町長 庁舎及び改善センター空調設備改修工事については、増額要因が判明したその都度説明すべきだった。誠に申し訳ない。平成23年1月に発生したノロウイルス集団感染は、今後、このような事案発生した際は速やかな対応、感染拡大を防ぐため周知を図って行きたい。



投票所の統廃合

町民不在の暴挙

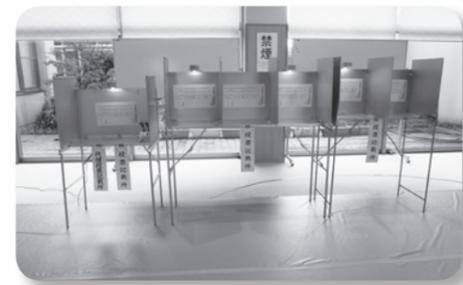
答「改善策を講じてほしい」
答「元に戻す考えはない」



森本 真理子

森本 投票所が統廃合されたが、この行政手法は町選挙管理委員会の独断で町民不在の暴挙である。再度、民主的な方法で町民の理解を求めながら、検討すべきでないか。
8か所削減で実施された選挙に対する分析検証は。

町長 選挙管理委員会は見直し後の現在の姿が最良であると思うことなく、届いた意見や検証の中から見えてきた問題点に対し、その改善策を講じる努力を行っていただきたい。



選挙管理委員長 旧投票所の一部を復活したり、見直し後の投票所の場所を変更もしない。12投票所のままとする。次回の選挙から、新たな対策として移動期日前投票所の開設、期日前投票所への移動バスの運行、北条地区での期日前投票所の開設を考えている。

町長の政治姿勢

ミスの責任は

答「速やかな対応に努める」

議会出前座談会

町からの回答



※抜粋分です。全文は町のホームページをご覧ください。

要望内容

倉吉は企業誘致が進んでいるが、町はどうして誘致しないのか。大都会へ出かけてでもやるべきではないか。

対応方針

近年は、行政が用地を確保・整備した状態で企業誘致を進めております。これには、多額の投資（税金）が必要です。町として、どういう企業を誘致していくのか、最終的にどういう目的で誘致するののかというところを整理し、その上で、企業誘致できる用地を確保していく必要があります。ご存じのとおり倉吉市は、企業誘致に関して、長年の誘致努力や投資により、平成23年度ごろから、徐々に企業の進出が決定してきております。しかしながら、新たな問題として、企業の雇用募集に対して、人材が不足している状況にあります。住民のニーズと企業誘致がミスマッチしてはいけません。大都会での企業誘致は、まず地元の企業との連携を密にし、前述の課題を整理したうえで、実施していきたいと考えております。
(産業振興課)

北栄町の人口が減っていく中で借金は多く、残った町民で返済していくことになる。年金の支給額も下がっている。町は人口が減っていることをどう考えているか。人が増える対策は。

北栄町においても人口減少は非常に大きな問題であると理解しています。また、この問題は北栄町だけでなく国や県と役割分担して協力しながら取り組んでいくことが必要と考えています。

現在、北栄町においても平成27年度当初予算に向けて効果的な取り組みを検討しているところです。

人口減少問題を一挙に解決することは非常に困難ですが、10年先、20年先を見据え、継続的に効果的な事業に取り組んでいきたいと考えます。
(政策企画課)



池田 捷昭



北条川放水路

池田
①北条川放水路のその後、進捗状況は。
②プラントの進出状況は。
③農業振興地域整備計画の見直しの進捗状況は。
④行財政改革をどう進めるのか。

町長
①弓原浜の対策委員長、県、本庁と課題と対策、解決に向けて協議を進めている。
②課題も多く、交渉継続中の地権者との面会も不調に終わった。プラントと再協議していく。
③現在、全体見直しを行っている。
④行財政改革は、単なる経費削減による財政収支の改善でない。町の発展のため行政と町民が一体となって町民に負担を強いることなく、財政基盤を確立することが目的である。

町長の政治姿勢
各課題の進捗は
「解決に向け努力している」

追跡 あの質問はどうなった?

Q.子どもの携帯 指導は?

【平成26年3月定例会】

【津川】本町における子どもたちの携帯電話の利用状況とその使用についての指導方針を伺う。また、その指導方針を、保護者、地域等へどのように啓発していくのか。

答【教育委員長】教育委員会、学校とも指導方針として、不要であり持込みをしないよう、親子で使用するルールを決めてもらう。こども園、保育所、小中学校の保護者を対象に同じ講師で研修会を実施したり、パンフレットを配布予定。

研修会を実施中

・大栄中学校	5月10日	開催済
・大栄小学校	6月10日	//
・大誠こども園	7月 3日	//
・北条こども園	7月16日	//
・北条中学校	10月15日	//
・由良こども園 (大谷保育所)	10月16日	//
・北条小学校	11月 7日	開催予定



大栄小学校での研修

さつきヶ丘団地
議会出前座談会

北栄町議会 出前座談会



かわいい 双子 ちゃん

河本 ^{なつみ}夏美ちゃん・^{まほ}真歩ちゃん
(左) (右) (10歳・大谷)

学習発表会におけ、ピアノの練習に頑張っています。好きな科目は、なつみが国語、まほが理科です。
これからも個性を大事にしながら、仲よく助け合っていてほしいと思います。



松本 ^{もえか}萌絵香ちゃん・^{みやび}実弥美ちゃん
(左) (右) (11歳・下神)

本を読んだり、おしゃべりをするのが大好きです。もえかはバドミントン、空手に頑張っています。みやびはバドミントンに頑張っています。元気でみんなに愛される明るい子に育ててほしいと思います。



知っとなる? こんな北栄

莉山神社 (曲)



莉山(かりやま)神社は竜王神を祀る神社であり、雨乞い神事として「神振り」という祈願が臨時におこなわれたことがある。北栄町史に記載があります。

岩崎神社 (妻波)



大栄町誌によると、岩崎神社の祭神は、大山祇命(おおやますみのみこと)、武甕槌命(たけみかづちのみこと)、菅原道真、海神で、明治六年十二月に岩崎神社と改号したとあります。

編集後記

今年の夏は、日本各地で集中豪雨が起きました。被災された方々にお見舞い申し上げます。

9月議会一般質問一項目には、中央育英2年生13名が傍聴に来られました。この生徒さんたちが、サケのように育ったふるさともどり、元氣よく活躍してくださいることを期待しています。

新しい広報メンバーで、4回目の発行となります。みなさまのご意見、ご感想お待ちしております。
森本真理子

発行責任者

議長 井上信一郎

編集

広報広聴常任委員会

委員長 宮本 幸美

副委員長 斉尾 智弘

油本 朋也

森本真理子

田中 精一

浜本 武代

表紙写真

北栄ごども園運動会

9月20日撮影